

# 2025 FISU World University Games

## Report 6 (7/26)

7月26日(土)

FISU World University Games 2日目。この日は、男女のダブルスカルスのSemifinal A/Bと男子シングルスカルスのFinal Cに日本から出漕し、熱い戦いを繰り広げました。

出艇前

必ずコーチもしくはチームスタッフが立会いヒールロープ、トップポールを確認します。その後、ADカードにあるQRコードで本人確認し、バウナンバー、GPSが艇に装着されます。



Final A進出を決めたM2xクルー。左からB中島選手(日本大学)、S宮口選手(NTT東日本)。

### M2x Semifinal A/B 2

オランダが飛び出し、他の5か国が並ぶようにして500mを通過。第二クォーターに入っても2位争いは横一線のまま。第3クォーターに入るとポーランドとオーストリアが徐々に遅れはじめ、2位争いは、日本、モルドバ、ノルウェーの3か国に絞られた。その後日本は1500mで僅差ながら2位に浮上しラストクォーターへ。どの国もスパートを入れる中、日本とモルドバが切れ味鋭いスパートを見せ、ノルウェーを突き放し2位、3位でゴール。日本は見事Final A進出を決めた。

### W2x Semifinal A/B 1

イギリスとオランダがリードしてレースが始まる。日本は3~5位争いの中に入り、Final A進出ラインの3位以内を十分にうかがえる位置にいる。レース中盤を過ぎてもイギリスとオランダは並ぶようにして下位とのセーフティリードを保っており、そこから6秒以上離れた3位争いが1500mを過ぎても2.44秒の中に4か国がひしめきあう大混戦となる。

ラストクォーター、日本は懸命にラストスパートを入れるが、他国も当然猛然とスパートをかけあう。最終的に1位イギリス、2位オランダ、そして3位にはより強烈なスパートを見せたチェコが入り、カザフスタン、アメリカ、日本はFinal Bに進むことになった。



必死のスパートもわずかに届かずFinal Bに進むことになったW2xクルー。左から B岸本選手(NTT東日本)、S猪野選手(明治安田)。

## M1x Final C

ウズベキスタンが積極的にレースを引っ張りカナダ、チェコが続き、少し遅れて日本とスロバキアが並ぶように続く。レース中盤でカナダがトップに立つ。日本はスロバキアをわずかにリードしながら4位に位置取りレースを進める。ラストクォーター、スパートを入れる日本だが順位が変わることはなく4位でゴール。全体では16位となった。



M1x 菅原選手(関西電力)



厳しいスケジュールの中、力を振り絞り全体9位に食い込んだW2xクルー。左から B岸本選手(NTT東日本)、S猪野選手(明治安田)。

## W2x Final B

午前にSemifinal A/Bで力を尽きた後の2本目のレース。カナダが全体をリードするも日本を含めた残り5か国でが並ぶように2位争いを繰り広げながら続く。1000mを過ぎてもカナダはトップを走る。スロバキアが少し遅れ始めるが、日本、アメリカ、ハンガリー、カザフスタンはほぼ横一線で終盤を迎える。ラストクォーター、日本はアメリカをかわすがハンガリーが鮮やかなスパートを見せる。1位カナダ、2位ハンガリーに続き日本は3位でゴール。全体で9位で大会を終えた。

## 7月27日(日)の出漕クルー



8:46(日本時間15:46)

M2- Final C

青木洋樹(明治安田)、上戸慧太(明治安田)

インド  
ベルギー  
ハンガリー  
香港  
スペイン  
日本

9:26(日本時間16:26)

W1x Final C

井上幸乃(立教大学)

カザフスタン

スロバキア

オランダ

日本

オーストラリア

スペイン



12:10(日本時間19:10)

M2x Final A

宮口大誠(NTT東日本)、中島広大  
(日本大学)

モルドバ

クロアチア

イタリア

オランダ

日本

リトアニア

ご声援よろしくお願ひいたします